

ごあいさつ

皆様には、日頃より愛知県信用農業協同組合連合会（愛称「JA愛知信連」）に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

本年も皆様に当会の経営方針、業務内容、令和7年度の業績等をご紹介しますために、本誌を作成いたしました。ご一読いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

当会は、昭和23年の設立以来、農業専門金融機関・地域金融機関として、県下のJAが食の安全と安心を地域の皆様にお届けすることを金融面からサポートするとともに、利用者の皆様の生活向上に資する幅広い金融サービスを提供することにより、地域農業と地域社会の豊かな未来の創造に取り組んでまいりました。

さて、令和7年度の日本経済は、国際情勢の緊迫化により地政学リスクが高まる中、企業活動は堅調に推移した一方で、物価上昇の影響により実質的な個人消費は底堅く推移し、国内景気は緩やかな回復基調を維持しました。

また、金融業界におきましては、金利ある世界の進展により、本業である預貸ビジネスへの回帰が進み、融資の拡大やALM・ポートフォリオ管理の最適化が推し進められました。

一方、農業の分野におきましては、輸入資材価格の高止まりや円安の影響、記録的な猛暑の常態化といった気候変動など、その経営環境は引き続き厳しい状況であることから、系統金融機関として金融仲介機能を更に深化し、JA系統ならではの付加価値を提供していくことの重要性が一層高まっています。

当会は、こうした情勢認識を踏まえ、中期計画（令和7年度～令和9年度）に基づき、JAごとの特性に応じた実効性の高いJAサポートに取り組むとともに、県下JA系統信用事業（通称「JAバンクあいち」）ならではの価値提供と持続可能な経営

を支える財務・収益基盤の構築に向け、役職員が一丸となり「JAバンクあいち」の発展に努めてまいります。

皆様におかれましては、本誌等を通じて当会に対するご理解を深めていただきますとともに、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月



経営管理委員会会長
平野 和実

代表理事理事長
磯村 幹夫